

# 日本情報考古学会第30回大会プログラム

日時：2012年9月29日(土)

会場：同志社大学東京オフィス(東京都千代田区大手町2丁目6番2号日本ビルディング5階)

12:55-13:00 開会挨拶 大会実行委員長 村上征勝

## 一般講演

研究発表1 13:00-13:20

考古遺物における三次元記録と観察—学術的価値の強化・パブリック考古学・博物館活動—

平川ひろみ・川宿田好見・太郎良真妃・中村有希  
(鹿児島国際大学)

研究発表2 13:20-13:40

三次元データによる考古学的観察環境の再現  
横山真・千葉史(株式会社ラング)

研究発表3 13:40-14:00

土器製作具のすり減りの三次元的検討—民族考古学的調査と実験から—

中園聡、平川ひろみ、太郎良真妃  
(鹿児島国際大学)

—休憩 14:00-14:10—

研究発表4 14:10-14:30

CG空間での縄文土器文様の再現  
高井健吾(愛知工業大学大学院)・  
水野慎士(愛知工業大学)・  
高木隆司(神戸芸術工科大学)・  
植田真(株式会社パスコ)

研究発表5 14:30-14:50

多変量解析による土器様式の空間的検討—須玖式土器における遠賀川以西系と遠賀川以东系の問題をめぐって—

太郎良真妃(鹿児島国際大学大学院)

研究発表6 14:50-15:10

理化学的胎土分析における分析データの量と質  
三辻利一・中園聡(鹿児島国際大学)

研究発表7 15:10-15:30

レーザー計測による立体地図を利用した初期前方後円墳の築造規格の研究

西村淳(函館大学)

—休憩 15:30-15:40—

15:40-15:50 学会賞授賞式

特別講演 15:50-16:40

考古資料の質的データと量的データ  
植木 武(共立女子短期大学)

—休憩 16:40-16:50—

研究発表8 16:50-17:10

前方後円墳における噴丘形の考察V  
—塚塚からの出土鏡に見る鋸歯文と墳丘系の有機的関連性について—

竹内啓二

研究発表9 17:10-17:30

漢鏡7期の不思議(第二報)  
石井好(元都立産業技術高等専門学校)

研究発表10 17:30-17:50

天神七代・地神五代の神々の故郷は伊都国(第三報)  
石井好(元都立産業技術高等専門学校)

総会 17:50-18:00

閉会挨拶 18:00-18:05

会長 植木 武

—懇親会 18:30-20:30—

# 大会会場へのアクセス

学会会場 同志社大学東京オフィス（東京都千代田区大手町2丁目6番2号日本ビルヂング5階）への

アクセス（同志社大学HPから抜粋）

所在地：〒100-0004 東京都千代田区大手町2丁目6番2号 日本ビルヂング5階566区

TEL：03-3516-7577

※JR「東京駅」 八重洲北口、新幹線日本橋口から徒歩5分

※地下鉄「大手町駅」 B8出口 エスカレーターで当ビル直結

※地下鉄 半蔵門線 「三越前駅」 B2出口から徒歩1分

東京オフィス：アクセスマップ

([http://www.doshisha.ac.jp/access/tokyo\\_access.html](http://www.doshisha.ac.jp/access/tokyo_access.html))

施設利用案内：東京オフィス

([http://www.doshisha.ac.jp/information/facility/tokyo\\_o/index.html](http://www.doshisha.ac.jp/information/facility/tokyo_o/index.html))

